

わいわい 通信



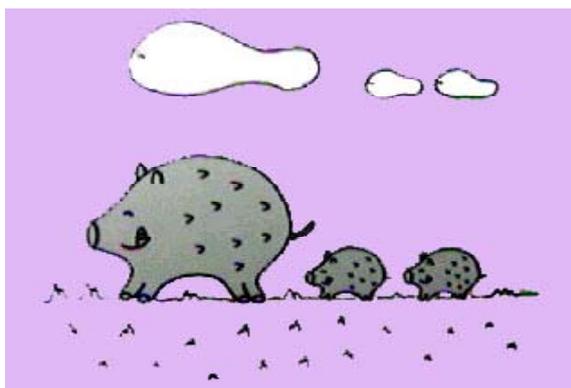
お年寄りのグループホーム「わいわい」が丸4年、子育て支援の「あったかほーむいしべ宿」が丸2年、障がいのある人たちのグループホーム「ホワイトハウス」がほぼ3年。NPOとして取り組んできた小さな”ほーむ”たちは、地域の皆様からの温かな励ましと具体の援助をいただきながら日々成長してきました。

今年もどうか、よろしくお願ひいたします。

お品書き

- グループホームの運営
- あったかほーむの運営
- 余暇利用の支援
- 環境保全の活動

あんしん なっとく じゅうじつ の生活



画 ・ くぼっち



12月9日・ワイワイ お餅つき

NPOの活動報告

- 9月12日 新ホーム 建築工事入札
- 9月12日 NPO法人「鳩の街」設立総会
- 9月16日 わいわい市民農園 構想検討初会合
- 9月23日 新ホーム建築工事契約締結
- 10月1日 新ホーム建設予定地 地鎮祭
- 10月8日 余暇活動ワイワイ(第74回)みかん狩りバス旅行
- 10月8日 新ホーム建設委員会(第9回)
- 10月21日 石部宿場まつり
- 11月12日 井の元川清掃活動
- 11月17日 新ホーム上棟式
- 11月19日 糸賀一雄記念賞舞台芸術祭(栗東さくら)
- 11月26日 余暇活動ワイワイ(第75回)ふれあい広場
- 12月3日 わいわい市民農園 現地打ち合わせ(区割り案)
- 12月9日 余暇活動ワイワイ(第76回)餅つき
- 12月23日 ホーム運営委員会(年末年始の確認)
- 1月11日 NPO三役会(ホーム支援体制の協議)
- 1月14日 わいわい運営推進会議(第2回)
- 1月14日 余暇活動ワイワイ(第77回)初詣

募集中

わいわい日中ボラ。
 時間：おまかせ。
 月1回でもかまいません。
 お話相手、散歩・買い物
 などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局(あったかほーむ内) TEL/FAX 0748-77-6723

「団塊の世代B組」

昭和20年8月に終戦となり、生き延びた元兵隊さんたちが続々と戦地から帰還した。私の親父も2回目のおつとめを支那で終え、運良く我が家へ帰ってきた。そして昭和22年12月22日、ヨシ葺き屋根の小さな家で私生まれた。

同じようにして村ではあちこちで子どもが生まれた。上級学年は80～90人であった生徒数が、その年は135名にも及んだ。教室は机が後壁まで並ぶほどの子どもでいっぱいであった。

私は小さい時から寄生虫や栄養失調で体が弱く、学校までのわずか1kmが歩けず、何度も立ち止まってたどり着くありさまであった。よって勉強も体操も殆ど目立たず、どちらかという負け組の一人であった。休み時間も馬けりや馬乗りといった荒っぽい遊びは苦手で、校庭の片隅でこっそりと、負け組同士の相撲をとるくらいであった。競争にも入れない、いわば団塊の世代B組といったところであった。

ただ中学の頃から体力の回復もあって、やっとそのA組の競争に参加し始めた。親は「私や貧乏で学校に行かれんじやったばい。あんたは勉強ばして学校に行きんしゃい」と勧めたので隣の県の学校へ入学した。

そして3年の秋の教育実習まではほぼA組のレース上にいたが、その年12月9日を境にまた元に戻ってしまうことになった。卒業時は成績も良くなく、おまけにあやしい札までついたので、教職はじめ受験したところはすべて落ちた。

がしかしそのおかげで私はここ滋賀の地で、人生最大の師となる田村一二先生に出会うことが出来た。他の団塊の世代B組の人たち同様、私も主流からはずれたことを後悔はしていない。 (み)



インフォメーション

・新しいグループホームに隣接して、「わいわい市民農園」と称して、貸し農園をOPENとなりました。輪作障がいがないように、1区画あたり畝が4つ立てられる広さ×2.5m)を用意しました。借り手の第一次募集(10区画分)は、歩いて通える近所の対象に行っています。公募多数の場合は、2月下旬に抽選を予定しています。

★★井の元川に蛭を！★★

私は福祉関係を活動の柱としている“ワイワイ”の中で環境保全を担当しています。

わいわいの理念の中に“街かどの普通の家で、普通の暮らし”がありますが、その普通の生活を送るためには、良好な環境が必要との思いから、理事長が5年前から始めました。その後、活動を引き続きお手伝いさせていただきます。



キャッチフレーズは“井の元川に蛭を！”を掲げています。実態といえば地元南区を流れる井の元川のゴミ拾いをして状です。自分ができる、持続できる、身の丈にあった活動で続けてゆくことが大切だと思っています。

昨年は、「土手の草がぼうぼうで蛭が見えへん」の声初めて草刈りを実施。これからも地道に背丈けてゆきます。みなさんも時間があさい。

(石)

～NPO有志も係わって「鳩の街プロジェクト」に参加しています。

NPO法人「鳩の街」がスタート！

新しい年を迎えましたが、少子高齢化が進む我が国では、いよいよ人口の減少期に入って少子化対策の根幹となる喫緊の課題になり、児童手当の増額など新年度の少子化対策予算も大幅に増額されました。それでも児童虐待のニュースが途切れることはありません。楽しいはずの子育てが意外にも「しんどい」と子育てに不安を感じている親が少なくありません。

地域に根ざした子育て支援の地道な活動が今、求められているのではないのでしょうか。

平和堂石部店2階にこのほど開設した“つどいの広場 つばめ”は、子育て中の親子に安らぎの空間し、親たちが相談したり、子どもの遊び場として、また、子育て情報提供コーナーとして湖南市の委託りNPO法人「鳩の街」が開設しました。新しい地域子育て支援の拠点です。

お買い物のついでに気軽に利用できる親子の居場所としてご利用いただきたいと思っています。

「鳩の街」は、「ハートのマチ」…心が通い合う、支えあうまちづくりを目指し、このほかにも障がなど、移動がままならない人たちへの外出支援（移送サービス）事業なども計画中で、携わっていただくボランティアも募っております。先輩のNPOワイワイあぼしクラブとも連携しながら「暮らし支えあい」めたいと思っていますので、ご協力、ご支援をお願いします。



…平和堂石部店2階の“つどいの広場つばめ”は、お買い物中に気軽に立ち寄れるスペースです。絵本やおもちゃなどもたくさんとした時間を過ごせると思います。ぜひお立ち寄りく

グループホームわいわい～ホーム長ほっこり・にっこり～

『地域密着型へ』

9名のお年寄りが暮らされる大きな一戸建て『わいわい』は今年5年目を迎えました。少しは暮らし良いところになったでしょうか？なかなか一歩離れてわいわいを見るという事がないので、どんな風が変わっていったのか解りません。

では、この頃のお年寄り皆様のご様子を少しお知らせいたしましょう…昨年12月24日のクリスマス会では、お年寄り皆さんやお客様に『わいわいの一年』のスライドショーを観て頂きました。次々流れる皆さんのいっぱいの笑顔に思わずスタッフの方が感極まってしまいました。

そして12月30日には、伊賀上野のウエルサンピアで忘年会、ご馳走を腹いっぱい食べて温泉で一年の垢をすっきり流して帰って来ました。程よい疲れだったので、帰りのバスでは皆さん気持ちよさそうにコクリ…コクリ…と。

どの企画の時もスタッフ皆さんいつもよく頑張ってくれる、これもわいわいの魅力だと思っています。

次に、昨年よりグループホームに2ヶ月毎の【運営推進会議】を行うことが義務付けられました。より一層の地域密着をすすめる為の政策ですが、これはなかなか有効ではないかと感じています。

今まで行政とホーム・家族とホーム・地域とホームと、それぞれ別々に関係をもってきたのをひとつに繋げることにより、グループホームの存在のアピールと認知症への理解、強いては認知症は他人事や特別な事というやや間違った考えを正してくれるのではと期待しています。

即効性はないかもしれませんが、続けることの意義は十分にあると思います。

本心で「認知症になってもいい」と思う人など一人もいないでしょう。表現は悪いですが、『ボケても安心』を創ることは、未来の自分のためと言っても過言ではないでしょう。

今のお年寄りを支えながら勉強させて頂き、これからは繋げていきたいと考えています。

(宮)

●**あったかほーむ いしべ宿(しゅく)**

〒520-3107 湖南省石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: attaka@w-aboshi.com

npowai@ex.biwa.ne.jp(本部)



●**高齢者グループホーム わいわい**

〒520-3107 湖南省石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: waiwai@ex.biwa.ne.jp



●**知的障害者グループホーム すずらんホーム**

〒520-3108 湖南省石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: suzuran@w-aboshi.com



●**知的障害者グループホーム さん・れいく**

〒520-3108 湖南省石部南四丁目9番5-1号

TEL/FAX 0748-77-0630

E-mail: info@w-aboshi.com



●**知的障害者グループホーム ホワイトハウス**

〒520-3108 湖南省石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp

white@w-aboshi.com



●**共生舎 なんてん**

〒520-3107 湖南省石部東三丁目1番5号

TEL 0748-77-8346

FAX 0748-77-8350



●**株なんてん共働サービス**

〒520-3108 湖南省石部南六丁目10番10号

TEL 0748-77-5580

FAX 0748-77-5617



新ホームの経過報告(4)

11月17日に上棟式をおこない、待望の建築工事がスタートしました。今年は、昨年のような雪は降らず、順調に工事が進みまし館側の市道からも、はっきりと一部2階建ての新ホームの姿が眺望できます。「ホームの名前は、入居するみんなでつけよう」と、頼もっていますが、まだ、決まりません。「ホワイトハウス」に対抗して「クレムリン」か、などという怪しげな提案もありますが、2月中に工事が終わり建築確認の検査のうえ、3月中旬には、引っ越しができることと思います。デンマーク研修から丸2年、夢の

〈編集後記〉

話は変わりますが、少し前、庭先に「カマキリの卵」を発見しました。テラスの柱に産み付けられた卵は8個。内半分は地のご紹介および、2006年度の会費の納入をよろしくお願面から30cm位に産み付けられ、残りは2mも上に！産み付けました。る場所によって積雪が予想出来るはず…ですが、今冬はやはり予報通りの暖冬でしょうか?!それとも?!

〈お願い〉